

9/21

15時に集合。浪江博士、櫻田くん、自分の3名で荷物を詰め込む。スーツケースだけだと23kgを超過するので、65リットルのリュックが活躍をした。17時に出発をしようと計画していたが、1630頃にJRが停電の影響で函館本線が止まっているとの情報が。慌てて車を2台手配した。自分は妻に依頼をして車で向かう。18時過ぎに到着。結局その後JRは復旧したということで、他のメンバーはJRで到着。それでも焦りました。

お土産を購入、おにぎりを食べてみなさんと合流。

荷物は重いですが、ホーチミンまで直行で運んでくれます。

羽田行きの飛行機は5分遅れて出発。到着後に浪江博士の親戚2名がさらにスーツケースを持ってきてくれています。ターミナル3で合流して荷物を受け取り、預けて次は国際線です。新しいパスポートになったおで、Face expressに登録できました。楽ちん。出国審査も新しいパスポートだとスムーズに。楽ちん。1年前倒して更新した甲斐がありました。待合室で飲み物をご馳走してくつろぎました。そのうち、羽田から合流する別のメンバーと無事に会えて、皆で乗り込みました。満席ではないものの9割以上の混み具合でした。1時半に乗り込みドアが閉まったとこまでしか覚えていません。よく寝れませんでした。それでも日本時間の5時頃までは寝てたようです。

朝食は卵乳製品OKのベジタリアン食を事前に頼んでいました。

ホーチミンの入国審査は激しく混みます。今回も然り。列が進まないし、係員の数も少ないです。1時間ほど待っていると、係員の人が寄ってきて携帯の写真を見せます。そこには自分の写真が。。。何か？。。。ついてこいということでした。端っこの方の係員のところに並ぶように指示されました。そこは一般用ではなく、作業員か何かの列のようです。あっという間に終わりました。後で聞いたところでは、迎えにきてくれた方の差配だったそうです。ありがとうございます。

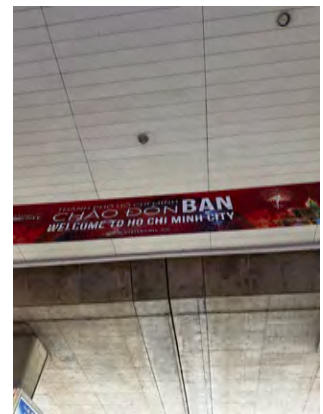
荷物はとくにベルトコンベアから下ろされている状態でしたが、他の方の荷物も含めて無事に到着していました。

申告なしのレーンで出国するとすぐにSFIの迎えがきていました。ここから二手に分かれます。会議は自分とズンさん。他のメンバーは直接現地に向かいます。

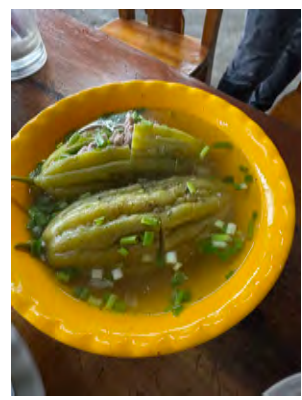
まずはホーチミンの方に戻り、SFI南Leさんと合流しました。まずは朝食。フォーボー。そしてカフェスーダー（ミルク入り冷たいコーヒー）。南のコーヒーは少し塩を入れる。氷に塩がついている。

そこからしばらく南進して、タンアンという街に。合併後の新しい省になったため、そこに改めて了解を取る必要があるということで、7月に合意した組織の上位機関になるということである。そのため、団場の利用の正式許可が降りていないので挨拶に行ってくれということでした。（事前に伝えてくれれば良いのに）会議は副局長と、もう一名の2名との打ち合わせで、こちらからはSFI本部のズンさんとSFI南支局のLeさん、そして自分の合計5名で対応。会議は至極和やかに進み、全面的に協力をするし、将来的にはさらに省全体の農業も視野に入れてくれということになりました。

ここでLeさんはホーチミンに戻るため別行動でバスに。その頃から雨



が強くなり、昼過ぎはハザードランプをみなさんつけながらのノロノロ運転になるほどの豪雨。
途中、自分たちは運転手も含めて3名で昼食。
おいしい。ご飯も美味しい。



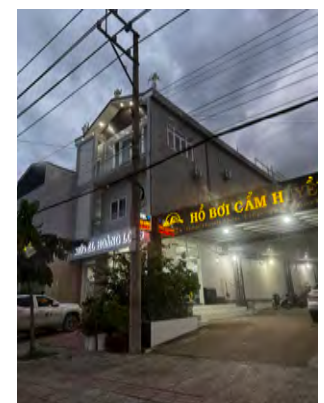
タンアンからタイニンは3時間半（とまらずに）。遠いです。16時過ぎにようやく現地圃場で合流できました。他のグループはタイホンのホテルで少し休んでからの移動になったようです。さて、ここでまたしても問題が発生。ホーチミンから持って来てくれることになっていた、いろいろな道具などを持ってきていないことが判明しました。事前に2度メールで確認

をとったのにです。まいりました。長靴、スコップ、トレイ、単管パイプ、ハカリ、コンドラー
ト、袋などなど。これでは作業になりません。さらに、圃場に牛が入ってカバークロップを食べています。牛を入れるなどお願いをしていたのに、困ったものです。
相談の上、一度近くの街に戻ることにして、そこで探すことにしました。まあ、なんとか秤以外は揃いました。



戻って、予定していた土壌サンプリングを終了して、ホテル（正確にはモーテル）には18時過ぎに到着。やっとシャワーを浴びることができました。畑は降り続けている雨のために土壌は柔らかく、7月とは全く異なる感じでした。

ただ、圃場の正式利用ができていなかったために、より広い面積の圃場準備ができていませんでした。本当であれば除草剤を撒いてあって、10月初旬からの植え付けに合わせて作業をすることになっているのですが、これでは間に合いません。



先方は10月初旬の移植を延期したいということでした。雨が多くて、この状態で移植をすると腐るのがほとんどになるからだというのが理由のようです。10月末から11月頭に変更をしたいということで、苗の手配もそのように進めるとのことでした。なんだかなー。どこまでが言い訳なのかが？です。

それでも考えてみれば、向こうも言いづらいところも多かったのかなと思います。

現地農家さんに作業道具を預けるのと同時に、家の敷地内にウェザーステーションを設置させてもらえることになりました。そのための単管の手配をします。

夕食はSFI南のマイさんも一緒に5人でホテルの近くの鍋屋にて。氷を入れたタイガービールとたっぷり食べました。ちなみに、ビールの缶の箱をお兄さんが運んでいたのですが、そこが抜けて床にぶちまけたのを持ってきてくれました。へこんでいる缶などもあったのですが、お構いなし。当然のように蓋を開けると泡が噴き出てきて楽しかったです？鍋にはキャッサバも入っていました。



23日

3時頃に目が覚めると外から大きな音楽が聞こえています。4時ちょうどに治りましたが、うるさい。部屋は窓のない部屋ですが、広く、それなりに綺麗なのでよいのですが、平日の夜の騒音は勘弁です。

730集合、朝食、現場。

現場に向かう途中の工具店で昨日購入し忘れていたブルーシートを入手しました。

今日はカバークロップ区の半分のサンプリングです（8プロット）。途中水分補給をしながら作業を進めました。それでも1330頃までかかり、ようやく終了です。雨こそほとんど

降られませんでした。土壌はぬかるんでいて歩くのも難儀します。依頼されていた圃場に埋めて

設置していたデータロガーを回収しましたが、角っこは潰れ（多分牛に踏まれた）、中は浸水した跡があります。装置を回収しようと

手を入れたらネズミが飛び出してきました。ケーブルは齧られて

はいませんでした。装置の中には水が溜まり、これではデータはとても取れて

いないだろうとがっかりしましたが、まずは回収して、乾かして次の作業です。

昼食をホテルの近くで食べて、食後のココナッツコーヒー。一度ホテルでシャワー、休憩。その後ホテルの一室に集まりサンプリングした土壌の処理です。



今回は三相分布も測定するので、機械を持ち込んでいます。18時半頃までかかったかな。

夕食は歩いていけるフォーのお店。なんとビールがありません。別のお店でビールを購入して宿に戻りましたが、日本人メンバーで1kmほど離れたスーパーに行くことにしました。それなりに大きなスーパーでお土産なども購入して、ホテルに戻って皆で部屋のみ。巨大なシャインマスカットがおつまみでした。



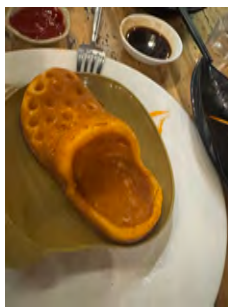
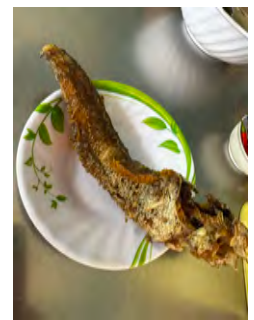
24日

昨夜はカラオケは静かでした。昨日の作業時間を考慮して、今日は朝食を30分早めて、さらに荷物を持ってそのまま現場に向かいます。朝食はホテルのそばのお店。小皿に乗っているのはMGA？

今日は昨日の続きです。カバークロップ区の土壌サンプリングが続きます。渡越前の週間天気予報が外れてくれたおかげで午前中は曇り。気温も30度には達していないようです（暑いけど）。ただ、地面はぬかるんでいます。

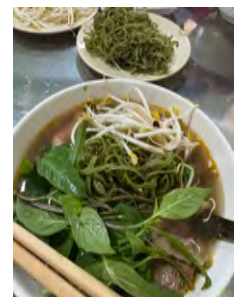
みんなで手分けをしながら作業します。だいぶ手慣れてきたこともあり12時前に終了。昼食はホテルの近く。小皿のおかずを選んで、それとご飯とスープ。自分は何かわからない魚のフライ。クセもなく美味しいのですが、骨ばかりでした。

昨日と同じ作業をして1730から夕食です。ホテルの向かいのお店でピザや十円コイン（最近流行りの韓国飯）などがあり、他にも韓国の焼酎もあり持ち込んだビールと一緒に。ただ、蚊が多くてちょっとくつろげませんでした。



25日

今日は10プロットサンプリング。用紙している土壌サンプリング用のコアが8プロット（72個）のため、2プロット終了した時点で、2名がホテルに戻り3相構造測定してコアを洗って持ち帰るという作業手順にする。今日中にサンプリングを終わらせると色々都合がよい。天候が心配されたが午前中は雨が降らない予報になったためそれを信じて進める。朝食は昨日よりさらに30分早める。クンシンサイの茎を裂いたものを入れて食べる。米の丸い麺。少しだけ日本語を喋れる店員さんのおすすめでスペシャルにした。スペシャルとは全部乗せのような感じ。45K（いつもは35k）



現地ではまず2名が近隣農家のドンさんの家にウェザーステーションを設置。他の3名は圃場に向かう。単管（2m 五百円）に固定して、動作確認。圃場では今日は人数が途中で減ることもあり、2名の圃場作業員を補助で雇用した。理解が早く助かった。雨が降らず土壌が少し乾燥してきたことも



あって昼前に全て終了。農家さんの家に預けていた道具類を引き上げてホテルでの作業に向かう。まずは昼食。おかずを変えていつもの感じ。今日はカエル。スープをつけて45Kだったかな。ホテルに戻る前に定番のココナッツカフェをホテルの向かいのお店（OLA）注文。ホテルに届けてもらう。昼食後の楽しみはココナッツカフェとシャワーです。その後の土壌分析作業は夕方には終わり、これで今回の圃場サンプリング作業は終了しました。かなり疲れましたが、予定通り（ちょっと早め）に終わったので助かりました。

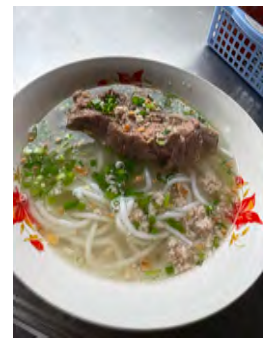


初日に行ったレストランで鍋を囲んで大いに盛り上がりました。お店のご主人もご機嫌で下ネタ連発で楽しんでいました。食事中に外は嵐のような雨と風に見舞われていましたが、そんなこと構わずに2時間ほど楽しんで、帰る時には小降りになっていたので助かりました。



26日

7時朝食。麺が丸いタイプのもの。フォーとは呼びませんが、名前を忘れました。荷物が多く、車が一台のためスーツケースなどは貴重品を除いてバスで事前にホーチミンに送付することにする。そんなサービスがあることは知りませんでした。荷物5つで550K。バスに乗せに行った部隊がホテルに戻ってから、まずは途中でコーヒーを朝なのでブラックアイスコーヒーに。7月にタイニンの元農業省にて荷物類の保管と、プロジェクト用に部屋を用意してくれる約束になっており、さらにその職員が英語もできて、工学修士を持っているという方がlocal staffになりたいと言われていたので、そちらを訪問するつもりでした。が、最初に訪問することになったのは農業普及センター。ここの副局長の方が出てきて、そんなスタッフのことは知らないとか、プロジェクトに関しての協力要請があるのは知っているが文書がまだ届いていないからとか言われて戸惑います。説明をする



とスタッフは2人は必要だとか吹っ掛けてきます。慌てて、CPにメールで連絡をして状況確認と、事前の話はどうしたのかと聞きました。その後7月にお会いした方（Nhangさん）が来られて、よ

うやく話がまとまり
だしました。結局は
分かりましたとのこ
とで了解をいただ
き、そこから本部の
方に移動。ここは元
農業省の場所で
2022年から何度も



訪問をしてきた場所になります。既知の所長のソウ
さんにもお会いすることができました。荷物を置く
部屋を用意していただいております、そこで作業をする
ことも認めていただきました。助かります。写真は
タイニンに保管する物品の写真です。実際に実験を
行う場合の水回りとかどうするのかはまた考えま
しょう。



候補の方はNGANさん。実際の雇用は11月からになる
ことと、その際には専属の農家も一名雇用するとい
うことで了解しました。両名で予定している予算内に収まるように現地調整員に進めてもらい
ます。

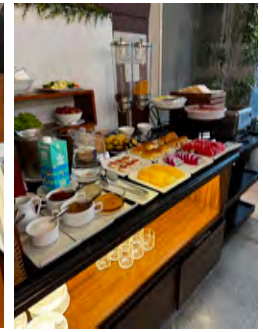
11時過ぎに出発、一路ホーチミンに。途中で昼食。ちょっと辛めのお味でご飯が進みます。レス
トランの隣のお店で現地のおつまみのような食材を購入。ここにはタイニン名物のエビ塩がたく
さん売っていました。さて、ホーチミンに近づくにつれて道路は混みます。気温も高めです。
15時からオンライン会議。イヤホンで会議を聞きながら、そして時々発言をしながらホテルの
チェックイン。ここでこれから三ヶ月滞在することになるPDの方と別れます。1人はご実家に、
もう1人はアパートに滞在です。

18時から夕食にしようとレストランに行くことになりました。雨が結構強く降っていたのでタク
シーで行くことにしましたが、なかなかGrabがつかまりません。結局20分くらい待つようやく
乗ることができました。Grabは便利です。Uberと同じですね

海鮮鍋です。美味しいです。ビールの飲み方が楽しいですよ。バケツに氷とビールが入っていて、
飲んだら潰して捨てていく。それだけでも盛り上がります。雨はやまないのですが半屋台ですっ
かりくつろぎました。帰りもGrabで。



朝、シャワーを浴びようと思うと何故か浴槽に茶色い水が、さらにバスタブの横にも茶色いしぶきがついています。上を見ると天井には漏水の跡があり、まだ滴もついていました。あまり気持ちよくないですね。昨晚の雨の影響のようですが、一応SFIの方に情報を伝えるとホテルに連絡をしてくれて対応してくれるとのことでした。



朝食はホテルで。色々食材は出ているのですが、残念ながらお味は今ひとつ。麺も今まで食べてきた屋台のフォーなどの味には遠く及びませんでした。

今日はまずは両替に行き、必要なベトナムドンを用意します。その後にSFI南支局で試料調整。外は朝から雨です。ずっと走っていないのですが、やむなし。でもこうして走らない（走れない）日が続くとだんだんと走るテンションが低下しているのを感じます。まずいです。腹周り復活を許すわけにはいかないのです。が、今朝のホテルの朝食を除けば飯がうまいのです。

土曜日なのでSFIも休日ですが、Maiさんがサポートをしてくれます。今朝はまずベントイン市場の近くにある両替屋（有名店）で今回の支払いで立て替えてもらっていたベトナムドンを用意します。圃場借上費、圃場管理費が今回は不要になったため想定よりも少なくて済みました。SFIに行き、まずは7月に採取した土壌の3相構造の測定を自分が担当します。この間に、市場で荷物の発送に必要なケースを調達してきてもらいます。このケースは事前に申請をして許可を取った土壌サンプルを入れます。重さや梱包方法などに間違いがあるとダメですので、書類を確認しながらの作業です。さらに、現地などで発行してもらった領収書の解読作業（ベトナム人も苦しんでいました）。昼には全ての作業が終わり、Maiさんの娘さんも一緒に

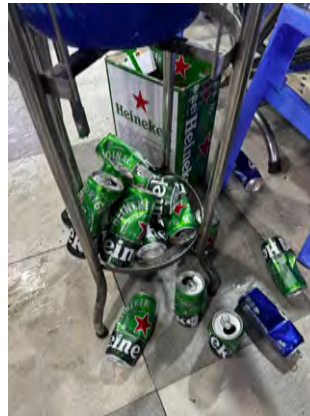
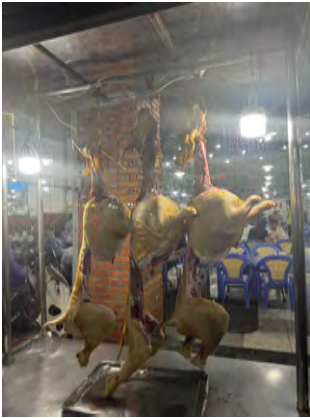
昼食。ベトナム中部の地方の料理だそうです（ダナンの隣）。麺が太麺でした。野菜と煎餅を割ってつけて食べます。美味しかったです。これにてSFIでの作業は終了です。SFIにはプロジェクト用の部屋が用意されていて、机も設置されていました。



助かります。

今回の訪越では予備日を作っていましたが、現地での作業が雨をくぐり抜けて順調に進んだので、予備日を使わずに終了しました。ホテルに戻ると浴室はきれいになっていました。今日も雨ですので、問題がなければ良いのですが。おかげで各自で今回のデータ整理などで時間を使うことができます。と、偉そうなことを言いましたが、せっかくベトナムにきたらマッサージを欠かすことは出来ません。ベトナム人のスタッフにきちんとしたお店を紹介してもらいました。ホットストーンマッサージ。なんとホテルの隣でした。（実は違うお店でした。本当はその隣。紛らわしい）今日は夕飯に雇用しているPD（ベトナム人）のご両親との会食です。7月に訪問した際にもお会いしてその際にヤギ料理に行った話をしたら、ホーチミンで一番美味しい山羊料理を今度来たときに連れて行ってあげると言われていました。o3というお店です。お店の前には山羊が3頭丸々吊るされていて（部分的に肉も削ぎ落とされています）、お店も大繁盛していました。山羊肉

として出す肉は全て山羊肉だと言っていました。なんのことを言っているのかと思ったら、山羊肉以外の肉を山羊肉と言って出すお店が多いからということでした。前回自分たちが行ったお店で美味しかった山羊のおっぱい肉の話をする、あれは豚のおっぱいだということでした。山羊のおっぱいは臭くて食べれたものではないそうです。なので、今回のお店にはおいていないそうです。なるほど。そういうことだったのか。さて、山羊料理ですが最初は蒸し焼き。初めて食べました。驚きです。蒸すと臭みがすっかり抜けて本当に美味。次にカレー味で似た鍋。これもと



ても美味。最後に足の上の方の部分を選んだ焼き肉。これは想定以上に柔らかく、臭みもなく美味。どれもビールが進みます。すっかり盛り上がりました。この家族には自分の研究室のPDがこれか

からお世話になることもあり、支払いはこちらでしました。どちらが払うかでしばらく揉めましたが、前回奢っていただいてこともあり、今回は自分が。次回は先方が奢るよということで落ち着きました。

翌朝の朝ご飯をご馳走したいということでした。実はホテルの朝ごはんは美味しくなかったの、喜んでと飛びつきました。ホテルまではGlabで問題なく帰りました。

28日

待ち合わせは715。少し前にロビーに降りて、残念ながら美味しくないコーヒーを飲みながら迎えを待ちました。途中ホーチミンで一番美味しいバンミー屋さん（前回食べた）、フォー屋さんなどを紹介してくださいました。朝食は7月に訪問した時にご一緒したお店です。バンミーのパンと中身を別にして出してくれるイメージです。魚のプレートにしたのですが、実際はソーセージ、パテがあって、ミートボールの代わりにイワシの缶詰が出てくる感じでし



た。でも美味しい。一番良いのはコーヒーが美味しい。やっぱり、美味しくないコーヒーを出すお店、ホテルの朝食は美味しくないです。朝食後、最近できたというショッピングモールに行ってみることにしました。地下鉄で数駅のところにあるので、自分以外は初めて地下鉄に乗る良い機会になりました。前回乗ったのは開通初日。その時は無料でした。今回はチケットを購入して乗るのですが、意外と面倒でした。一回券を購入するにもカードを入手しなければならずこのカードは15000で、これに行きたい場所までの料金を足して購入します。このカード、そのご何度でも使えると思ったのですが、実は追加ができません。そのため、毎回降りたら券売機でデポジットを戻してもらう操作が必要でした。もう少し工夫してくれると使いやすいのですが。ちなみに、自分以外の二人はバスにも挑戦してきました。添乗員がいると現金を渡せば良いそうですが、運転手だけだとお釣りが必要な場合はカゴに入っているお金の中からお釣りを自分で取るそうです。

昼食を抜いていたので、夕食は17時頃に。ホテルの近くのベトナム料理屋さんに行くことにしました（かなり高価でしたが、最終日なので良いでしょう）。



ホテルで荷物を回収して、Glabで飛行場（270,000VNDで少し高い）。ホーチミン発羽田行きが50分遅延でしたが、その後の乗り継ぎの手配もしてくれたので良いです。今回のお土産写真は大学によって先に渡した分は入っていません。

